

# 会社紹介

## Trans Med Consulting Services Ltd.

### 準会員 高橋 麻貴子さん



#### 1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

Trans Medは2005年からバンクーバー、トロント(カナダ)を中心に医療通訳・保険請求代行サービスを提供しております。カナダにワーキングホリデーや留学、又は観光で訪れる日本人の方々が、万が一病気や怪我をってしまった時にご利用いただくサービスです。まず、日本人が海外で病院にかかる時に困る理由Top3を上げてみると、

- 1) 国が違くと医療システムもガラリと異なるので、先ずどこに連絡するべきか、どの病院に行けば良いか分からない。
  - 2) 医療機関での会話は特にハードルが上がリ、言葉の壁が出てしまう。
  - 3) 北米の治療費は日本と比べるとかなり高額なため、その場で支払うとなると、精神的にも経済的にも負担がかかってしまう。
- この3つの難題を解決するのがTrans Medの役目です。もし、海外で病気や怪我をしてしまった時、こんなサービスを提供します。
- ・医療通訳スタッフが医師と患者様の間に入り、症状を聞いた上でスクリーニングをし、どこの病院に行くべきかを提案。
  - ・病院やクリニックへ同行し、現地の医療スタッフとの会話を通訳。
  - ・医療費の支払いを代行し、患者さんの代わりに保険会社へ請求をするというキャッシュレスサービスを提供。

上記のサービスを通して、異国で体調のすぐれない患者様に、最善の医療と安心感を与えられるように全力を尽くしております。

#### 2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

意外とアジア人が多くて驚いたのと、日本食やレストランも豊富なので、食に困らないのは嬉しいです。友人からヒューストンの印象を聞かれた時に必ず言うのは、“人が優しい”ということ。今まで出会った方はみんな親切で、たくさん助けられました。また、多くのゴルフコースがあるのも魅力です！

#### 3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

小6のある日の朝、急に両親から「アメリカへ旅行に行くから学校に行かなくて良いよ」と伝えられました。子供だったので、何も警戒せず「ラッキー！」とそのままランドセルを降ろし、スーツケースに荷物を詰めて空港に向かったのですが、なんとその後5年間も日本へ帰る事はありませんでした。今となると笑い話ですが、親に拉致された状態でした。自分の意思で海外に来た訳ではなかったため、日本にずっと帰りたいと思っていましたし、今でもいつかまた日本に住みたいと憧れを持っています。16歳になったのと同時にアルバイトを始め、自分で貯めたお金でチケットを買って帰国したのが、その5年後です。自立する大切さを覚えたのはその時かもしれません。現在は主にバンクーバーとロサンゼルスに住んでいます。今後ヒューストンでも日本の方をサポートする医療関係の会社を立ち上げたいと思っています。

最後になりましたが、現在の趣味はゴルフ、ハイキング、ジム、旅行、仕事、読書、食べる事。ゴルフはビギナーレベルですが、いつか商工会のゴルフコンペに参加できれば良いなと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



## ゴルフストリーム方針説明

読者の皆様へ

平素はゴルフストリーム誌をご愛顧頂き、ありがとうございます。5月に実施しました「読者アンケート」の結果は7月号Page 1&Page 3にてご報告させて頂きました。今回は、アンケート結果を踏まえて編集委員で相談した今後の方針について、ご報告致します。

今回の編集方針で最も大きな変更点は、電子化になります。紙版発行の熱いご希望もありましたため、大きな予算をかけない範囲でできることを考え、まずは三水会センターの図書館にて、2・3部の紙版を閲覧用として掲示することとしました。是非、図書館へお立ち寄りください。引き続き、図書館の他、読者の皆様がお立ち寄りになる機会が多いと思われる場所への掲示についても検討を続けます。また、電子版の掲示サイトの周知のため、図書館では、掲示サイトへのQRコードを印刷したチラシを配布予定です。更には、紙版では解像度に限界があった資料などは、リンクを張ってより高解像度の資料を掲示したいと考えております。直ぐには難しいもの

の、スマートフォンでのご利用が多いことも認識できたため、スマートフォンで読みやすいフォーマットに変えていく事なども検討していきたいと考えております。せっかくの電子化ですので、出来るだけマルチメディア化を進め、紙版では出来なかった臨場感のある誌面作りも検討を進めます。ご希望があれば、編集部までお寄せください。

誌面の内容につきましては、これまでのスタイルに対して前向きなご感想・ご評価を頂いたと考えております。旅行記・観光地紹介、駐妻のヒューストン日記、食うすとん(レストラン紹介)、ヒューストンウォーカーなどの生活情報記事など、多くの人気記事は継続して掲載していきます。更に、ご希望が多かった、現地安全情報、経済動向・市場動向、ビジネス関連、学校関連といったジャンルも、人気記事に加えて厚くしていき、皆様に愛される誌面作り而努力していきたいと思っております。なお、これまで2ページ目に掲載してきました概略版の議事録につきましては、会員専用ページにて正式な議事録をアーカイブしており、あまり人気がないことも分かり、その分の誌面を増やすこともできるため、次年度から割愛させて頂きます。会員の皆様につきましては、専用ページでの閲覧をお願い致します。

### 編集委員募集中!



ボランティアで成り立っている編集委員会です。普段の生活の中で、あ、こんなこともあるのだという発見があったら、ぜひ教えてください。読者の皆様の視点が充実した誌面作りに役立つと思います。編集委員としてのご参加も大歓迎です。ご興味をお持ちの方のご連絡、お待ちしております。

(編集委員長 稲田徳弘)